

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

堀江小	学校	児童数	242
-----	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.61	19.22	33.48	40.13	39.82	9.66	154.13	18.42	51.68
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	17.00	18.23	37.35	37.84	30.57	9.94	139.62	11.54	52.36
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

5年生の体力テスト全国平均と比較すると、男子は3種目、女子は2種目全国平均を上回る結果となった。ソフトボール投げは、男女共に全国平均と約2m下回る結果となった。体力合計点でも男女共に全国平均を下回る結果となった。次に、質問事項「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答では、「好き」と答えた児童は、男子71.9%（全国72.1%）、女子56.1%（全国54.5%）であった。また、「1週間の総運動時間」では、男女共に平日は、ほとんどが60分を下回っていた。しかし、休日では、男子は60分を大きく上回り、女子も60分を少し上回る結果となった。

以上の結果から、平日に運動する機会が減っており、運動能力の低下につながっていると考えられる。今後は、結果で下回った（走・投）の取組について進める。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校は、年々児童数が増え、1500人にも上る過大規模校となっている。今後ともに児童一人一人の運動量確保と体力・運動能力の伸長が最大の課題である。

これまでの取組では、高学年でのトップアスリートによる夢授業「ラグビー」「バスケットボール」の実施や体育インストラクターによる器械運動領域の指導など、各学年児童の興味関心や運動能力向上を目的とした取組を実施した。児童数は年々増加しているが、どの学年も運動場でボール遊びや鬼ごっこなど運動に親しむ児童が増えてきている。

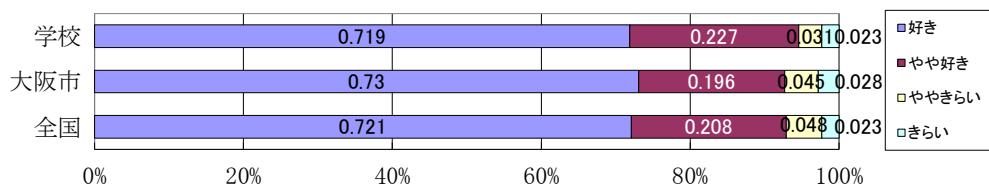
今後は、運動機能を向上させるシナプロロジーの実施や児童一人一人の運動量確保・運動能力向上のための系統性をもった取組を進めていく必要がある。また、来年度は、西学舎と東学舎に分かれるため、これまで以上に児童一人一人が運動量が確保され、運動に親しむことができるような環境づくりを進める。

検証テーマ

本校の特徴的な結果

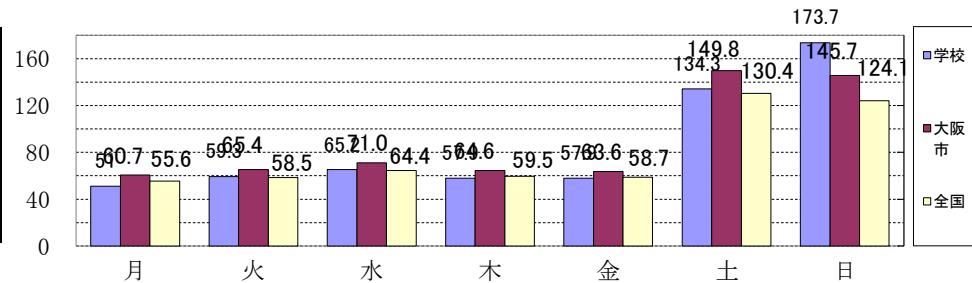
検証項目1

【男子】
運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。



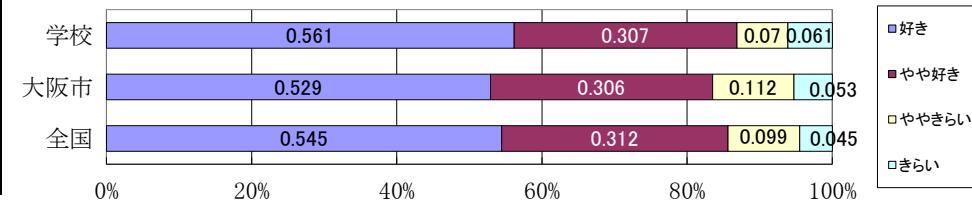
検証項目2

【男子】
ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。それぞれの曜日のらんに記入してください。



検証項目3

【女子】
運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。



【女子】
ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。それぞれの曜日のらんに記入してください。

